

北海道
の底力
発進!



ひろまる通信

立憲民主党

広田まゆみの活動報告 2019年2月・3月

2019年5月1日 ひろまる通信 Vol.7

発行 広田まゆみ
住所 〒003-0025
札幌市白石区本郷通 7丁目北 1-28
TEL:011-860-8666 FAX:011-860-8667
E-mail : mail@hiromaru.jp
URL : https://hiromaru.jp



寒くなりました、
暑くなりました、皆様は
お変わりありませんか？
選挙の後のどの調子が
すべぬない日が経ちますが、
皆様からいただいた
二七、五〇三票の重みを
おみえながら、努力して
まいります。今後とも
よろしく
お願いいたします

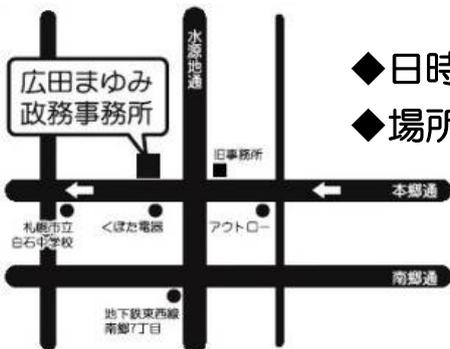
ひろまる相談サロン

毎月1回、白石各地で開催中です。

今回は、「第16回 本郷の桜まつり」の開催日に、本郷商店街にある
《広田まゆみ政務事務所》にて、個別の道政相談会を開催します。

※ご相談希望の方は、原則予約制（お一人30分）です。
事務所までお問合せください。（TEL：860-8666）

尚、差し支えなければ、事前に相談内容の概要をお知らせください。



◆日時 5月12日（日）16:00～20:00

◆場所 広田まゆみ政務事務所
（白石区本郷通7丁目北1-28）

※地下鉄 東西線「南郷7丁目駅」
3番出口より徒歩5分



◎ひろまる通信ご希望の方は

FAX番号またはご住所をお知らせ下さい。

TEL:011-860-8666

FAX:011-860-8667



f フェイスブックページも更新中です!

▼広田まゆみ
<https://www.facebook.com/mayumi.hirota.94>

▼北海道議会議員 広田まゆみ政務事務所
<https://www.facebook.com/hiromarujimusyo>

Twitter やってます! @hirotamayumi

「人」「組織」「地域」の強みを知り、活かす！

2.21

イノベーションとは新結合である 社会企業家的地方議員とは

地震がある前ですが、12回目の政経セミナーを開催させていただきました。ご参加の皆さんありがとうございました。この後、私自身も帰宅難民化するという印象深いセミナーになりました。

変化を脅威ではなく、機会と捉えて、地域課題解決に自ら取り組む人材育成が、私のこれからの大きな重点目標です。

特に、社会企業家的地方議員を100人誕生させることが、私の人生のこれからの目標です。その目標に改めて、佐藤等先生に、力を吹き込んでいただき、意味づけを深めていただいたように思っています。ありがとうございます。



佐藤先生は、「イノベーション＝新結合＝すでにあるモノ、コトを組み合わせて新しい価値を生み出すこと」という言葉をくださいました。イノベーション＝技術革新と思ってしまうと、工業的なことと思ってしまうがちですが、もっと人間的なものなんですよ。

新しい価値を生み出すことは、機械にはできない、きっと、私たち人間にしかできないんです。今までどおりの同じことを、マニュアルどおりにするなら、ロボットにかなわない。ロボットにならない人をつくるために必要なことのひとつが、私は、こどもたちが年齢を超えて外で自然の中で群れて遊べる環境の保障だと思っています。

大人に与えられた遊びを遊ぶのではなく、こどもたちが自らつくった遊びを遊びこむことが、必要なんです。昔は当たり前にあったことを新たな形で、大人が、社会が、保障できたら。それを大事にする地域社会を作りたいんです。すでに長野県や、鳥取県、広島県などでは、「制度化」がはじまりました。北海道が企業家精神教育の島として、世界に発信できたら、素敵です。

そして、まさに社会企業家でもあるお三方のお話も圧巻でした。



常に進化を続けている柴田涼平さん、荒井一洋さんの実践とこれからのお話、浦幌スタイルを事例として、宮前耕史先生がめざす新しい学校のカたちと地域の関わり方のお話、どれも、すでに起こっている未来、新しい現実でした。

これからも統計やデータにはまだ現れてこないが、すでに地域ではじまっている未来を多くの皆さんに情報共有していきたいと思えます。ご参加の皆さんの明日の行動、実践につながる何かは伝えられていたら幸いです。



3.11

3.11 だから知って実践 独立型太陽光発電とアーシング

『3.11だから知って実践』と題して、早川寿保さんを講師に「独立型太陽光発電のワークショップ」と「電磁波とアーシングの講座」を開催しました。

進化してきたテクノロジーを、誰のために、何のために使うべきか、東日本大震災のあった日だからこそ、私たちは、自らに問いかけていかねばならないと確認する1日になりました。

独立型の市民発電所を一つでも二つでも、増やしていきたいです。私たち一人ひとりが、暮らしや仕事のなかのどの部分に、どんな自然エネルギーを取り入れるかを、賢く考えること、その上で、必要な技術や知識を持つ人たちとつながっていく場やコーディネートも必要ですね。そして、残念ながら、電磁波に関してあまりにも規制の少ない日本の現状、そして、そういう日本だからこそ、大地とつながるアーシングが必要だと認識したところです。

できることから少しずつしかできませんが、北海道独自でも、何らかの規制強化、アーシングの普及などにも努力していきます。



3.12

34,876 人の笑顔

安平町立早来小学校の『8000人の笑顔プロジェクト』の報告会に走りました。

なんと、集まったのは、34,876人の笑顔。

その達成数にも感動しましたが、このプロジェクトを振り返ってのこどもたちから出てくる、気づき、学び、感謝の言葉が宝物のシャワーのように降り注いで、涙がとまりませんでした。とつとつと、あるいは流暢に、それぞれのペースで、しかも、淡々と自分たちの思いを伝えてくれた6年生たち。

もしかしたら、ボタン一つで誰にも会わなくても生活ができてしまう未来が来るかもしれない一方で、iPadやSNSを道具として使って、たくさんの人に会って、話して、たくさんの方の笑顔を引き出し、たくさんの方を笑顔にしたこどもたちの力に脱帽です。

大人ができることは、こどもたちが夢を実現する力を発揮できる時間、空間を保障することに尽きると思えました。復興とは何か、地域再生、創生って、いったい何なんだろうか、この言葉たちの前に、今の政治は何を語れるのだろうか、とても恥ずかしい思いもしました。

こどもの遊び環境と参画の保障は、ますます、私の人生の目標として揺るぎないものになってきました。微力ですが、がんばります。



すべては北海道の未来のために！白石の元気のために！！